



国際交流協会ともだちin名取

会長 小島 秀太郎 さん

「文化の違いを認め合い、
ともだちになる」

互いの文化の違いを認め合い、地域社会で共に生きていく―多文化共生を目指し、市内で活動を続ける人たちがいる。

国際交流協会ともだちin名取。海外出身者向けの日本語講座を開催しているほか、文化交流などを行っている。

小島秀太郎さんは、同協会の会長、そして宮城県国際化協会の理事を務めている。

「隣にいる人ともだちになることができ。国際交流は難しいイメージがあるかもしれませんがそんなことはありません」と話す小島さん。

「ともだちin名取には約30人の会員がおり、タイや中国、日本、アメリカなど出身はさまざま。一人ひとりに寄り添った勉強方法でのびのびと活動しています」。言語や文化の異なる人たちが集まり、常に笑いが絶えず、寄り添い合い、大きな一つの輪ができていくそう。

「国籍を聞かれたら、日本人です」とはななく、地球人です」と答えた。国籍は関係ありません。そこに住んでいる人ともだちになる、それだけのことです」

小島さんには、いつか「国」という概念がなくなっただけという願いがある。「違いを認め合う世の中になっただけ」。その思いを胸に、これからも一歩ずつ、交流を行っていく。

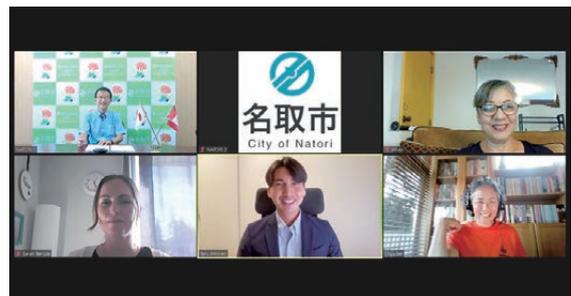
Friendship with Canada



カナダスーク市長と4度目のオンラインミーティングをしました！

国際交流事業の一環として、中学生海外派遣先であるカナダブリティッシュ・コロンビア州のスーク市長と山田市長が4度目のオンラインミーティングを行いました。

ミーティングでは、イベントなどが再開し始めたこと、絵画の作品交流について話がありました。名取市出身で現在カナダ・バンクーバー在住のウィットレッド太郎さんにも参加していただき、両市のこれからの交流についてアドバイスをいただきました。



☎ なんとりの魅力創生課国際交流・広報係 ☎ 724-7143